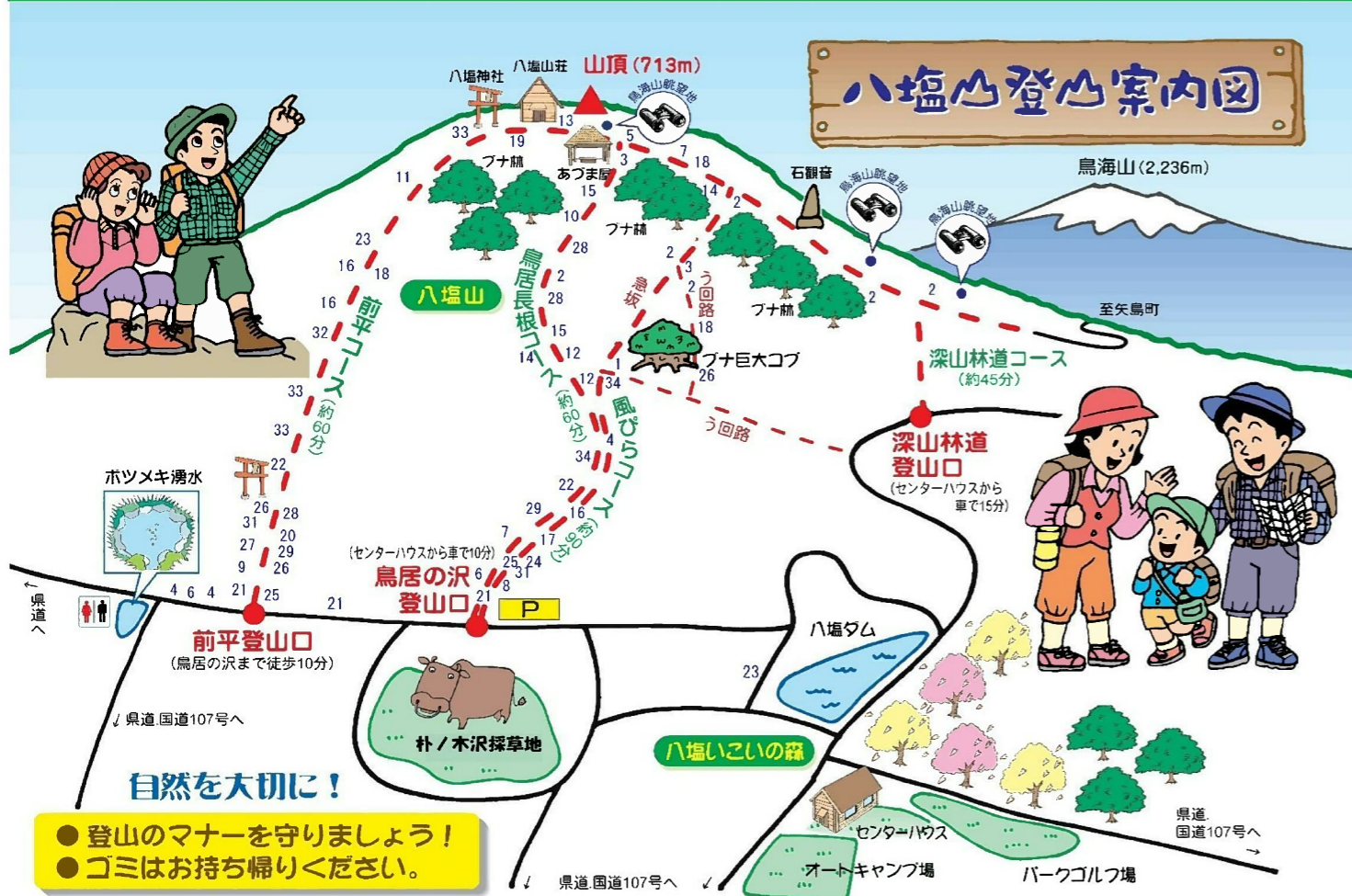


八塩山 山野草マップ



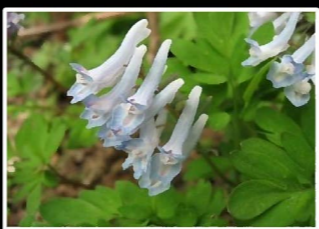
1 アズマシロカネソウ



2 イワウチ



3 ウメガサソウ



4 エゾエンゴサク



5 オオカメキ



6 カタクリ



7 ツルシキミ



8 ニリンソウ



9 ホウチャクソウ



10 マンサク



11 イチヨウラン



12 イワナシ



13 サワフタギ



14 ミズキ



15 ムラサキヤシオ



16 ユキザサ



17 サンカヨウ



18 ギンリョウソウ



19 ツルアジサイ



20 トチバニンジン



21 トリアシショウマ



22 ヤマブキショウマ



23 ウメバチソウ



24 オクトリカボ



25 キツリフネ



26 キバナアキギリ



27 キンミズヒキ



28 ホツツジ



29 ミズヒキ



30 サラシナショウマ



31 ツリフネソウ



32 ツルリンドウ



33 フノハナワラビ



34 ヤドリギ

時季の分類【凡例】	No. 春(3月~5月)
	No. 春~夏(4月~7月)
	No. 夏(6月~8月)
	No. 夏~秋(8月~10月)
	No. 秋(9月~11月)
	No. 冬(12月~2月)

※マップに掲載の番号は、写真にある山野草等の番号を示す
※ヤドリギは、山野草ではなく、樹木に分類される



八塩山から見る東由利

八塩山 四季の花と風情



フデリンドウ



エンレイソウ



眺望地からの鳥海山



イワウチワの群生

秋田県由利本荘市東由利地域の南側に位置する八塩山の標高は713m。前方（東南方向）には焼石連峰、後方（西南方向）には、霊峰鳥海山がそびえ立つ。

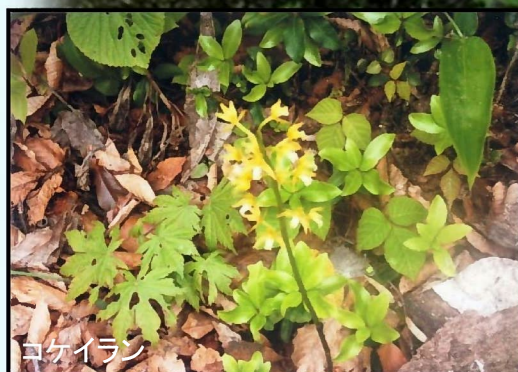
はるか昔、縄文時代からの歴史を物語るかのように、山麓の「ボツメキ湧水地」の近くでは、縄文時代の食糧貯蔵穴とみられる遺跡「フラスコ状ピット」が発見されており、日産900トンもの清冽な湧水があるボツメキ周辺は、古代の人々の暮らしぶりなど悠久のロマンを感じることができるスポットになっている。

八塩山という名称の由来は、狩猟採集生活であった縄文時代から山麓一帯が食糧となる木の実や山菜、狩猟対象の小動物が豊富で正に宝の山だったと考えられ、それに命の源である豊富な湧水、加えて貴重な塩を結びつけ、頭に未広がり縁起の良い八を冠したのではないかと推測される。

八塩山で確認されている山野草は200種を超える。掲載した山野草はその一部で、主なものを抽出した。宝の山とも言える八塩山へぜひ足を運んでいただき、自然の恵みを満喫していただければ幸いである。



フナの森



コゲイラン



ガタタリ群生